LARC

ロールスクリーン ラルク

大型タイプ

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

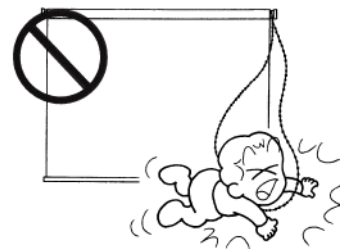
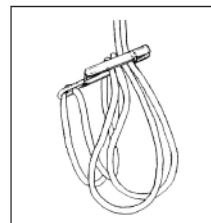
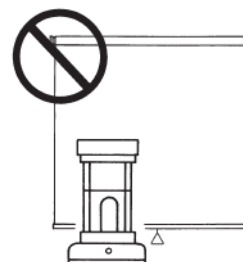
⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

 警告

■お子様を製品に近づけないでください。
操作コードが体に巻きつく等して、思わぬ事故を招く恐れがあります。

※コードクリップ（付属品）について
操作コードを危険のないようたくし上げる部品です。小さなお子様がいる場合など、手が届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。

■火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

注意

■製品にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損することがあります。

■風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながることがあります。

お取付けになる前にお読みください

警告

製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

注意

付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。

木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

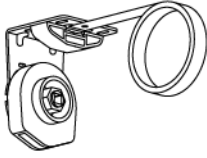
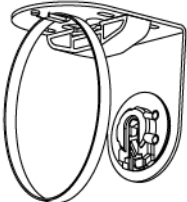
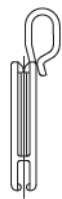
本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

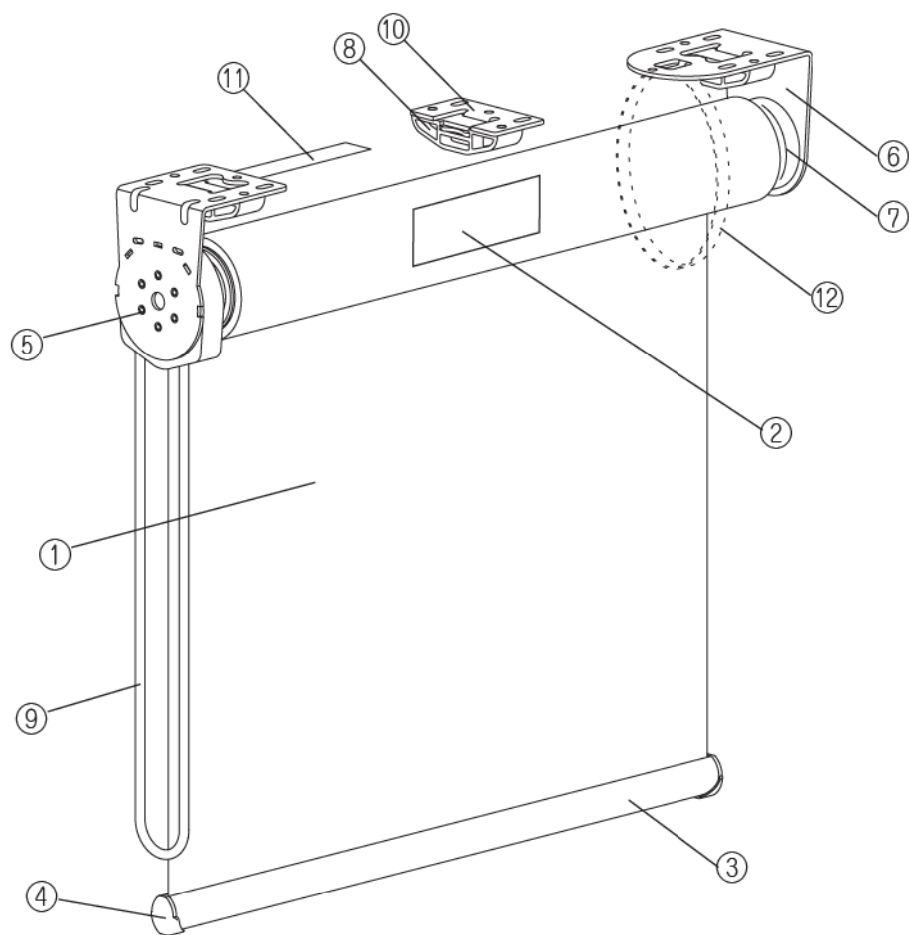
使用環境上のご注意（必ずお守りください）

注意

この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。

蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。

水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミが発生することがあります。

窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色する場合があります。

各部の名称

①生地
②巻取りパイプ
③ウェイトバー
④ウェイトバーキャップ
⑤プーリーブラケット
⑥軸受けブラケット
⑦キャッチカバー
⑧ウェイトバーストッパー
⑨操作コード
⑩中間ストッパーベース
⑪ディスタンステープ
⑫取付け補助テープ

付　属　品

部品名 ＼ 製品幅（mm）	プーリーブラケット	軸受ブラケット	中間ストッパーベース	ウェイトバーストッパー	取付けビス	両面テープ	コードクリップ
800～2000	1	1	0	0	8	2	1
2010～3000	1	1	1	1	10	3	1

※ガイドレール仕様及びガイドＢ・フラットバー仕様の場合、中間ストッパーベース、ウェイトバーストッパーは付属されません（使用しません）。

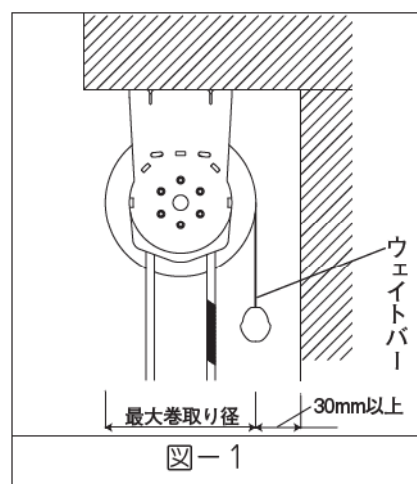
製品の取付けかた

必要な工具：プラスドライバー・ハサミ・巻尺（スケール）

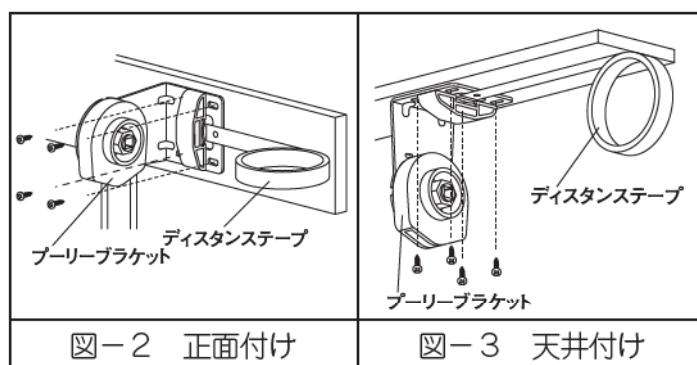
1）製品の確認
製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

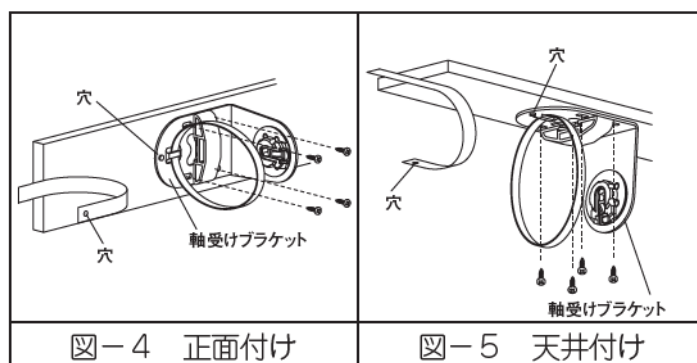
2）取付け下地の確認
・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
・木部に取付ける時は、厚さが 10mm 以上であることを確認してください。
・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。
・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

3）ブラケット取付け位置（天井付けの場合）
天井付けの場合、ブラケットの取付け位置は、図－１のように生地を巻き上げた際、背面にウェイトバーの通過する隙間(30mm 以上）が開くように取付け位置を決めてください。

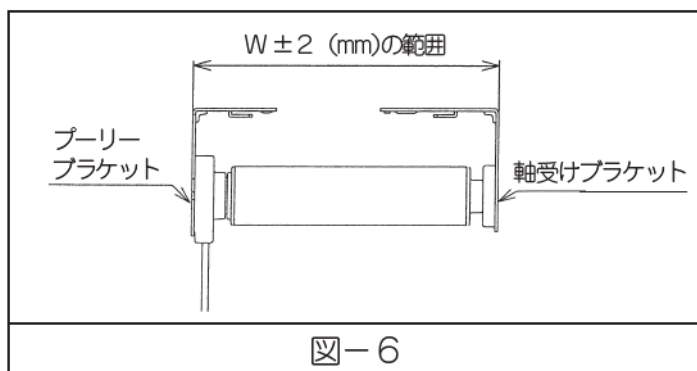
図－１

4）プーリーブラケットの取付け
操作位置側にプーリーブラケットを、正面付けの場合は図－２、天井付けの場合は図－３のように取付け面に付属のビスで固定してください。
※図は左操作の場合です。

図－２　正面付け　図－３　天井付け

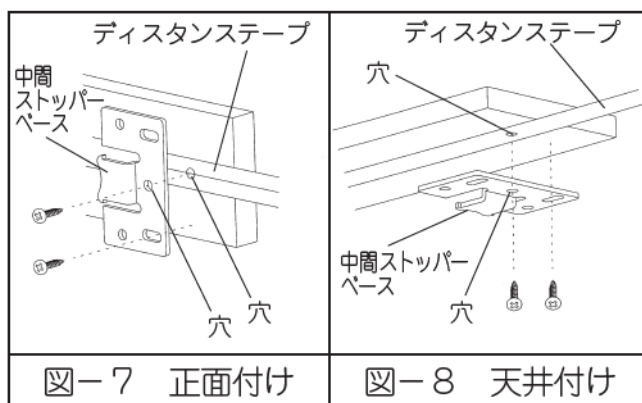
5）ディスタンステープの貼りつけ
ディスタンステープをたるみのないように伸ばしながら、付属の両面テープで取付け面に貼り付けてください。

6）軸受けブラケットの取付け
ディスタンステープの端部の穴を軸受ブラケットの穴に合わせて、正面付けの場合は図－４、天井付けの場合は図－５のように取付け面に付属のビスで固定してください。
※図は左操作の場合です。

図－４　正面付け　図－５　天井付け

製品の取付けかた

取付け完了後は、プーリーブラケットと軸受けブラケットの外外間の寸法を測定し、W ± 2mmの範囲内で取付けられているか確認してください。
範囲外の場合製品が落下する可能性があります。

図－6

7）中間ストッパーベースの取付け（製品幅 2010mm 以上の場合のみ）

ディスタンステープの中央の穴に合わせて、正面付けの場合は図－7、天井付けの場合は図－8のように取付け面に付属のビスで固定してください。
※ガイドレールＢ・フラットバー仕様の場合、中間ストッパーベースは使用しません。

図－7　正面付け	図－8　天井付け

8）ディスタンステープの取外し

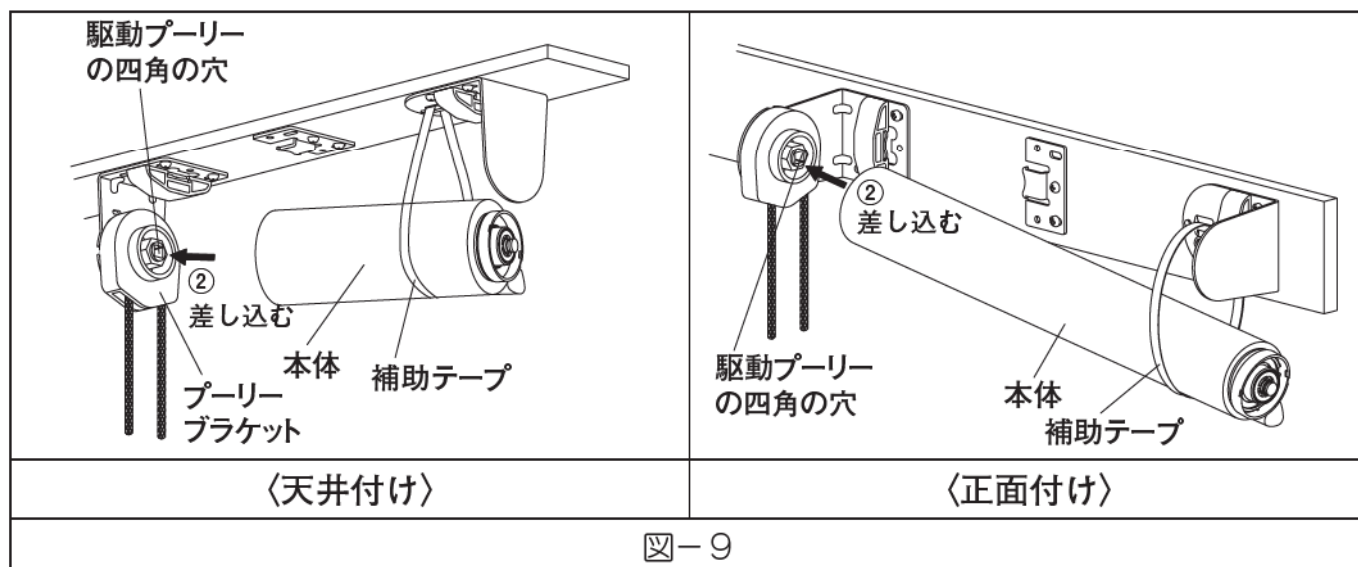
ディスタンステープは各部品の位置出し用ですのでこの時点で切りとって取外してください。

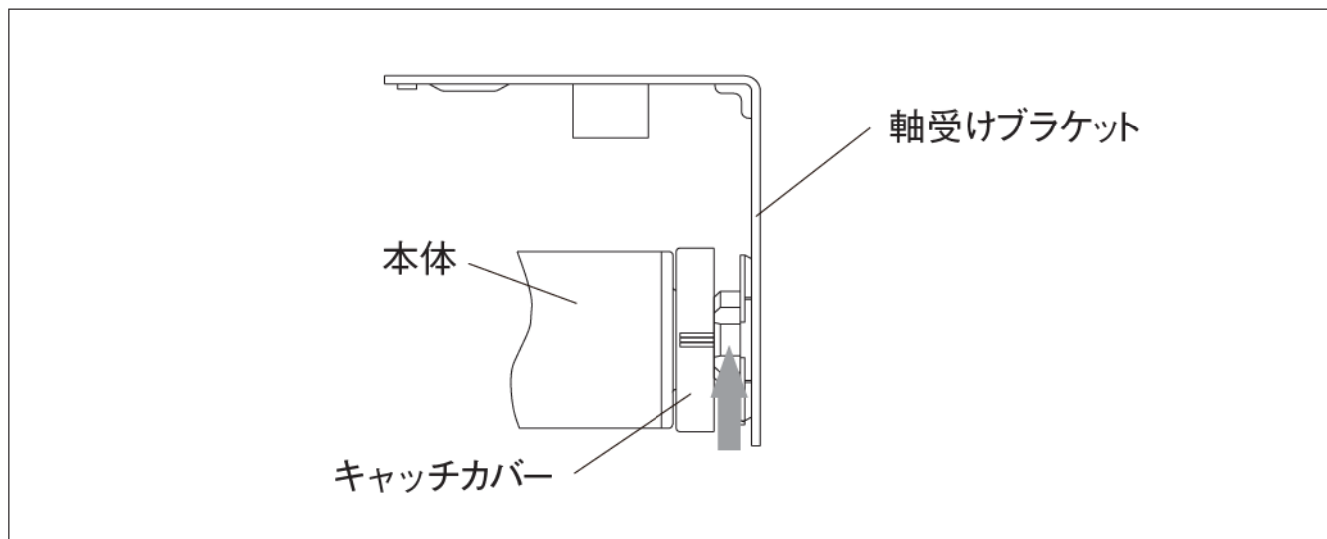
9）本体の取付け

① 本体の向きを確認してください。四角の軸が出ている方がプーリーブラケット側になります。

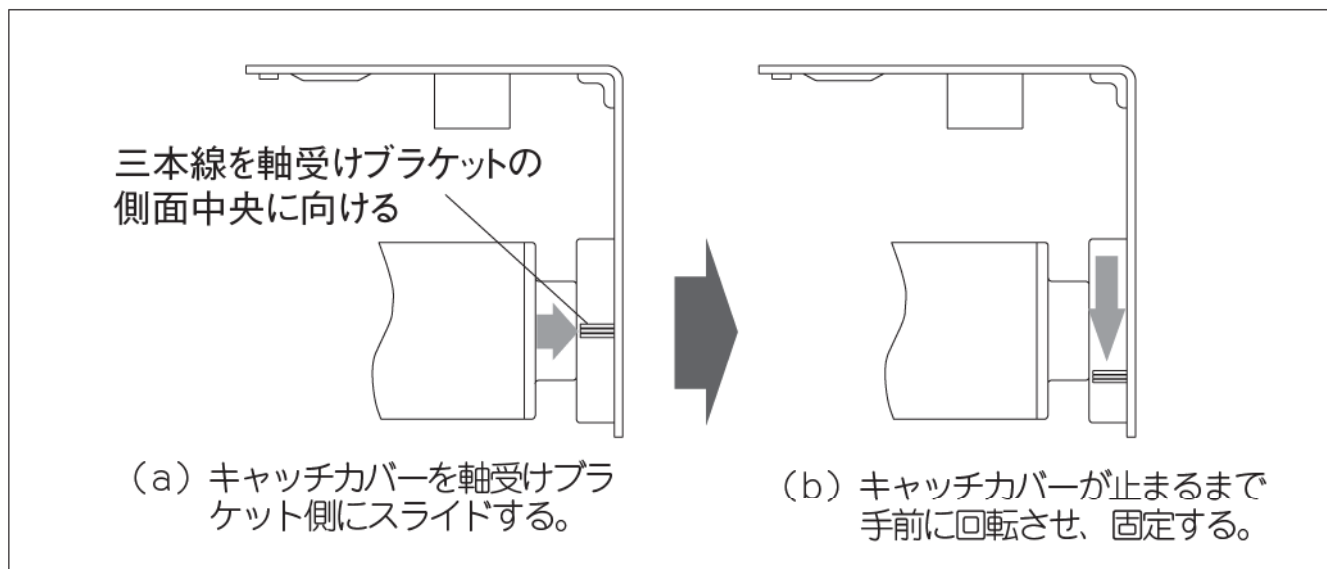
② 本体の軸受け側を図－9のように補助テープに差し込んでからプーリーブラケット側の軸を駆動プーリーの四角の穴に差し込んでください。

〈天井付け〉	〈正面付け〉

図－9

製品の取付けかた

③　本体の軸を軸受けブラケットの下部から挿入し、カチンとロックの掛かる音がするまで押し上げて、はめ込んでください。本体をしっかりと持ちながら上下にゆすって、本体が確実に軸受けブラケットに固定されたことを確認してください。

④　キャッチカバーの側面にある三本線が、軸受けブラケットの側面中央に見える向きで、キャッチカバーを軸受けブラケット側にスライドし（a)、キャッチカバーが止まるまで手前に回転させ（b)、軸受けブラケットに固定します。

（a）キャッチカバーを軸受けブラケット側にスライドする。

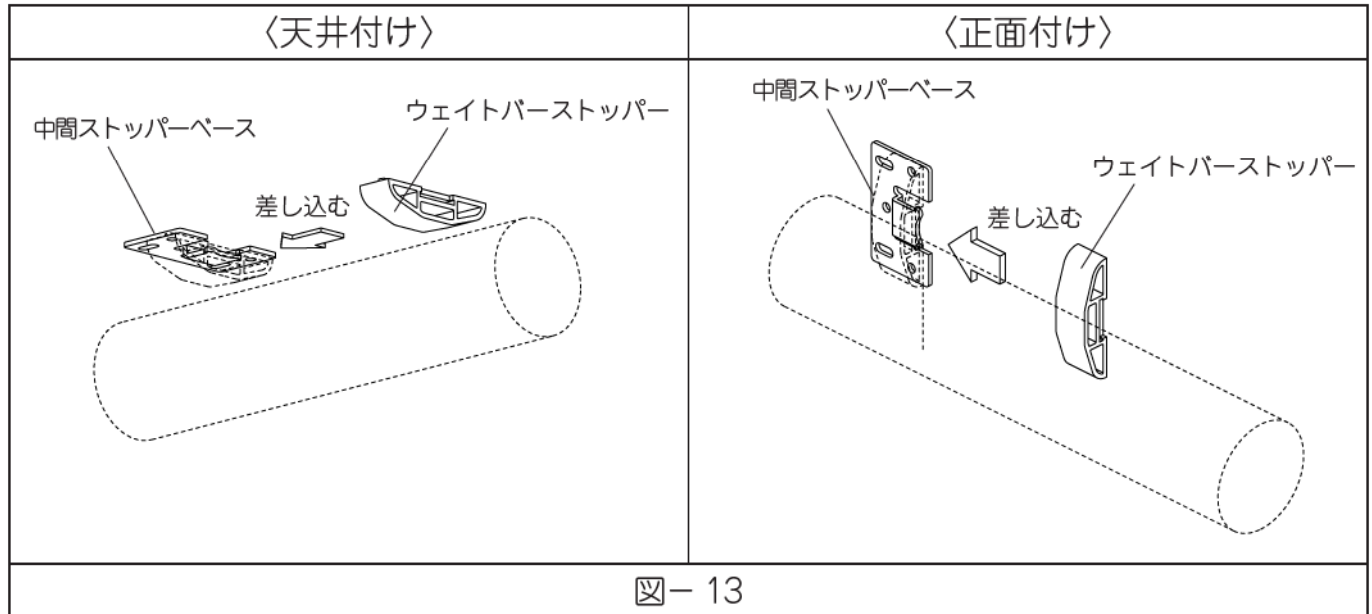
（b）キャッチカバーが止まるまで手前に回転させ、固定する。

注意　製品取付け時には、本体の軸とキャッチカバーが軸受けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

製品の取付けかた

10）ウェイトバーストッパーの取付け（※幅 2010mm 以上の製品のみ）

中間ストッパーベース部にウェイトバーストッパーを図－ 13のように差し込んでください。

※ガイドレール仕様及びガイド B･フラットバー仕様の場合、中間ストッパーベース部のウェイトバーストッパーは使用しません。

図－ 13

11） 生地に巻いてあるテープをはがす。

生地に巻いてあるテープ（補助テープ）をはがして取付け完了です。

製品の取外しかた

取付けかたの 10）から逆手順で取外してください。

※ 軸受けブラケットから本体の軸を外す方法

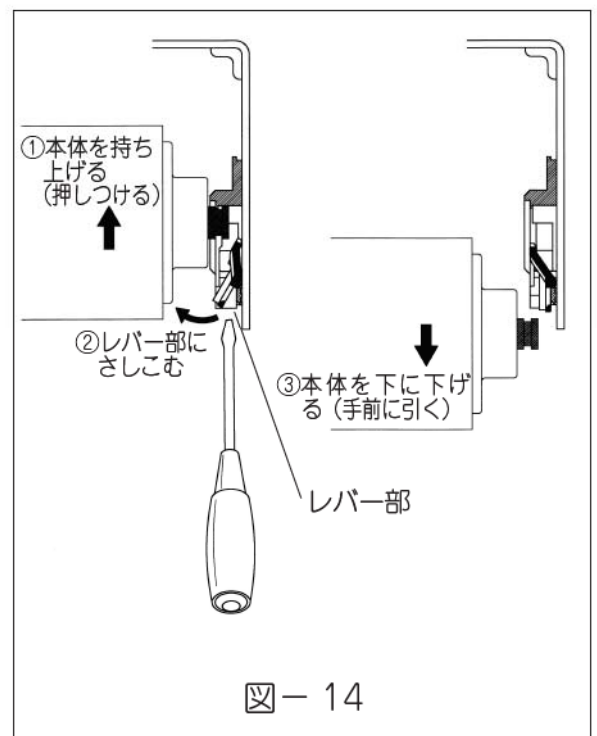
①本体を天井付けの場合は上に持ち上げながら（正面付けの場合は正面に押し付けながら）

②レバー部にマイナスドライバーをさしこみレバーを引きおこしたまま

③本体を下に下げると（正面付けの場合は本体を手前に引くと）軸受けブラケットより本体の軸が外れます。

※②でレバーを起こした状態で本体より手を離すと本体が落下するので注意してください。

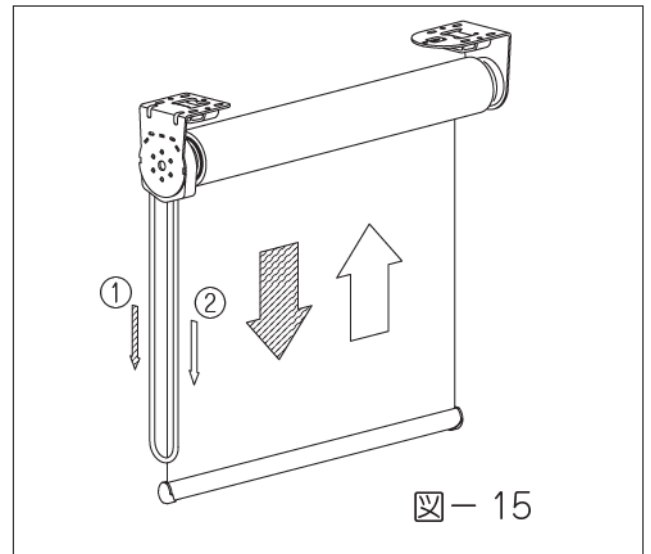
※本体を傾け過ぎますと駆動プーリー側の軸が破損する可能性がありますので、ご注意ください。

図－ 14

操作のしかた

《降ろすとき》
操作コードの奥側（図－15の①）を真下に引き降ろしてください。

《上げるとき》
操作コードの手前側（図－15の②）を真下に引き降ろしてください。

《途中で止めるとき》
「降ろす」または「上げる」途中で操作コードを引くのをやめてください。
その時点で生地は止まります。

図－15

巻取りスプリングの強さ調節

製品は生地巻き取り時の操作力軽減の為、巻取りパイプにスプリングが内蔵されています。製品出荷時にスプリングの調整をおこなっていますが、操作コードが滑り完全に巻きあがらない場合は、以下の方法で調整をおこなってください。

１）本体の取外し

①本体を軸受けブラケット、プーリーブラケットから取外してください。本体の取外しかたは、7ページの「製品の取外しかた」をご覧ください。

※軸受けブラケットから本体の軸を抜く場合、本体を傾け過ぎると駆動プーリー側の軸が破損する可能性がありますので、ご注意ください。

②プーリーブラケットを取外してください。

※軸受けブラケットと中間ストッパーベースは取外す必要はありません。

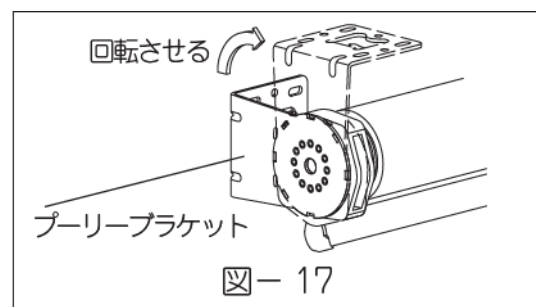
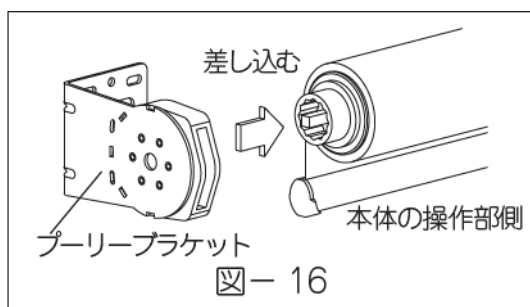
２）スプリング巻き

本体の操作側に取外したプーリーブラケットを図－16のように差し込み、図－17の矢印の方向（生地を巻き上げる方向）へプーリーブラケットを２～３回転させて調整してください。

※スプリングの巻き過ぎは、降下不良の原因になります。

※図は左操作の場合です。

図－16

図－17

３）製品の再取付け

製品の取付けかた（4～6ページ）を参照の上、再度取付けてください。

※プーリーブラケットを取付ける際には、しっかりと確実に固定してください。

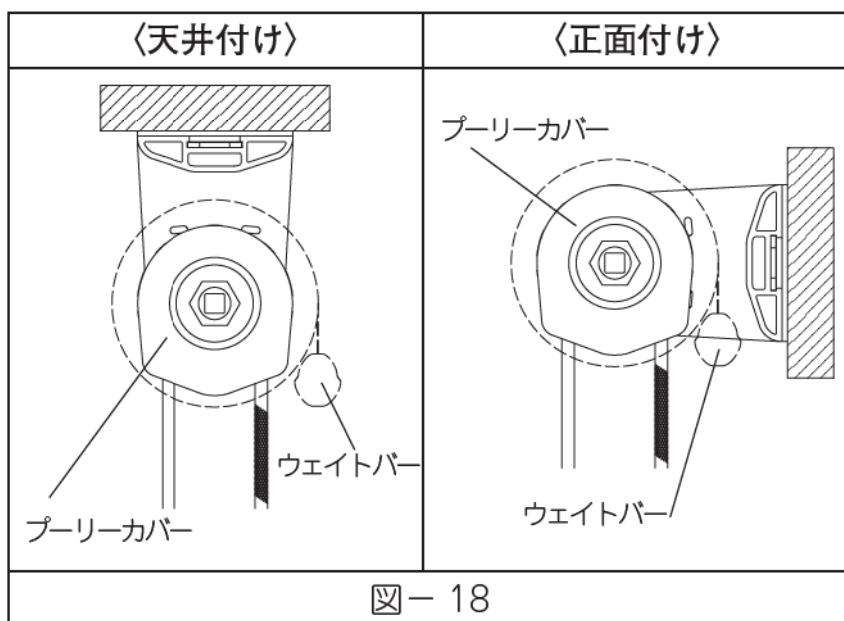
天井付け・正面付け切換えのしかた

1）本体の取外し

本体を軸受けブラケット・プーリーブラケットからはずしてください。本体の取外しかたは、7ページの「製品の取外しかた」をご覧ください。

※軸受けブラケットから本体の軸を抜く場合、本体を傾け過ぎると駆動プーリー側の軸が破損する可能性がありますので、ご注意ください。

右の図－18は、天井付け、正面付けの場合のプーリーカバーとウェイトバーの位置関係を示しています。

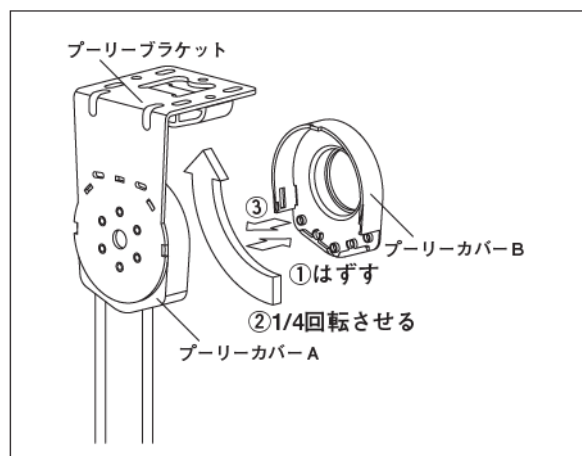
図－18

2）プーリーブラケット・軸受けブラケットの取外し

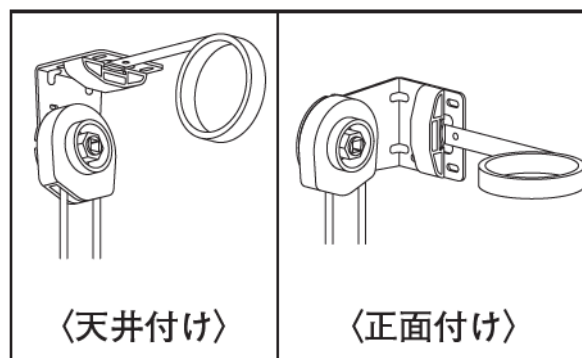
プーリーブラケット・軸受けブラケットを取外してください。

3）天井付け・正面付けの切換え

① プーリーカバーBをはずしてください。

② プーリーカバーAを1/4回転させてください。

③ プーリーカバーBを、プーリーカバーAに合わせて元通りにはめこんでください。

4）製品の再取付け

製品の取付けかた（4～6ページ）を参照の上、再度取付けてください。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等で汚れやほこりを取払ってください。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。

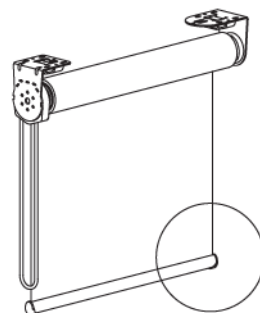
こんなときは

症　状	原　因	処　置
生地が巻取りパイプにきれいに巻き取られない	・取付け面が水平でない	・軸受けブラケット・プーリーブラケットが水平になるように取付け面を調整してください。
	・生地の伸縮等	・付属の巻きずれシールをシール記載の説明にしたがって取付けてください。
生地の端部がほつれてきた	・生地が軸受けブラケット･プーリーブラケットに当たっている	・巻取りパイプにきれいに巻き取られるよう調整した後、ほつれた生地の端部をハサミで切り取ってください。
製品が落ちた	・取付けビスが抜けた	・取付ける面の種類に応じた取付けかたをしてください。 お買上げいただいた販売店にご相談ください。
	・製品がブラケットに確実に固定されていなかった	・この取扱説明書にしたがって取付けなおしてください。

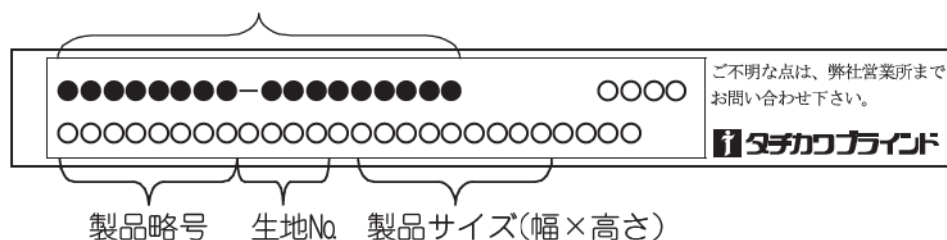
※お取り替え用の生地もご用意しています（有償）。ご購入の際は、お買上げいただいた販売店にご相談ください。転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品の生地No.、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。修理や部品交換等のお問い合わせの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

【メンテナンスシール貼付場所】

製品正面から見てウェイトバーの右側裏面

【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「－」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。

保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より３年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「生地部」、「コード類」につきましては、無償修理期間をご購入日より１年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。
※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

その他、ご不明な点･お問い合わせ等は、下記のいずれかの方法からお願いいたします。

●お電話にて（フリーダイヤル） **0120-937-958（お客様相談室）**
受付時間 9：00～12：00　13：00～17：00（土日・祝祭日、夏季休暇、年末年始等のぞく）

●インターネット（ホームページ）にて　http://www.blind.co.jp/contact/

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

2012.9
942618